明治三十三年一月廿五日發行（明治二十一年三月二十八日內務省許可）

# 婦人衛生雜誌

第百貳拾貳號

私立大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 婦人衛生雜誌

## 第百貳拾貳號目次

### 講演


●ペスト豫防に就て……（一）
警察醫長醫學士 山根正次君


### 衛生叢談


●大家諸氏のペスト談……（二十七）
●ペストの歷史……（二十七）
●ペストの病狀……（二十八）
●ペスト菌と其形狀……（二十八）
●洗足の惡しきこと……（二十九）
●潜伏期咯痰の檢査……（三十）
●人のペストに罹る前には鼠先づ死す（三十）
●諸大家演說の摘要……（三十）
●猫と鼠……（三十一）
●中濱博士演說中の一片……（三十一）
●日本人新らし物ずき……（三十一）


### 中外彙報


●印度支那總督の厚意●内地ペスト患者●臺灣のペスト●香港ペスト●惡疫豫防委員任命●隔離舍落成●顯微鏡室を設く●流行性感冒と痳疹●警視廳檢疫事務擴張●鼠買上初日の光景●滊車檢疫●好一對●肺ペスト●會社の恐慌●乳牛取締●鳥の死躰●白鼠問題●液の下及股のグリ〳〵


### 食物調理法


●牛肉の鷄卵燒……（四十）


### 新潟支會記事


●新潟支會の新年會……（四十四）


### 廣告


●本會々報●新年の辭●會員種類變更●本會入會者●轉居●正誤


Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## ◉本會事務所移轉及事務員ノ辭任

本會事務員石川千代子には今回病氣の爲めにより辭任相成候ニ付以來事務編輯等一切左の地に於て取扱ひ候間此段御了承相願候也

新事務所　東京市牛込區矢來町參番地
字中ノ丸田中方

## ●地方會員へ謹告

地方會員にして會費御送附の節は左の本會會計幹事宛御送附相願候也

爲替送附所　東京市牛込區東五軒町五十一番地
高木かう子宛

爲替振込局　牛込郵便局

明治三十三年一月

私立大日本婦人衞生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 令旨

「去十一月例會に於ける總裁殿下よりの令旨」

本日茲に會員の方々と相見ることを得たるは周子の深く喜ぶ所なり顧ふに衛生の事たる人世の最も大切なることにて婦人の一家を治め子弟を養育する上に於ては皆よく斯の道を辨へ置かでかなはざることなり

本會は役員幷びに會員諸氏の熱心なる協力により次第に隆盛に赴けるは誠に滿足する所なり只茲に一言諸氏に望むところは凡て婦人は衣服に意を用ゐること多きが爲めに集會などの席にありては自然衣服競爭の弊に陷ることなしとせず斯くては本會の旨趣にも違ふべければ會員は爾後ます〱質素と淸潔とを旨とし流行に走るの風を避け成るべく一回も多く出席して有益なる講義を聽きて自他を益し以て本會の目的を達せられんことを希望に堪へざる處なり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 婦人衛生雜誌第百二十二號

(明治三十三年一月十五日發行)

## 講演

### ●演題未定

警察醫長醫學士　山根正次君　述

殿下及び貴婦人、私はいつでも最初に山根正次の名を申しますが、唯今御紹會になつた即ち山根正次であります、本日は婦人衛生會を當區の即ち區役所の樓上に於て御開きになることでありまして、殊に殿下も成らせられ誠に演說をする者の非常に榮譽とする所であります、今日は私は此處に演題未定として置きましたが、ペストと云ふ病氣の豫防に就て御話を致しませうと思ひます、

此ペストと云ふものを豫防すると云ふ御話に移りまする前に日本の衛生の有樣及び外國に於ける所の衛生の有樣を少しばかり御話を致したいのであります、一躰この國に衛生と云ふものが盛んになれば其國は盛んになるのでありまする、衛生と云ふ事が衰ふればその國と云ふものが亡ぶるのであります、ソレですから衛生ほど大切なるものはないので御座いまする、此頃は皆論者がヤレ兵隊を大きくしなければならぬとか或は軍艦をモツト拵へにやアならぬとか云ふことを稱へる者がありまする、大政治家も其事を皆唱へて居る所の今日でありまするが、私は今日の急務は何が一番急務であるかと云ふと、人の健康を計ると云ふことが一番の急務であらうと思ひます、今國に軍艦が多くても、如何に大砲が多くても、之を動かす所の人が强健でなけらねば、健康でなけらんねば軍艦や兵器が幾らあつても何にも役に立たぬのでありまする、ソレで人の健康と云ふことが土臺になつて、さうして敎育も盛んになり、又商工業

も盛んになり、總ての事が盛んになるのであります、何をする上に於ても人の身躰が丈夫でなければ極らぬのであります、勉强をする上に於ても身躰が丈夫でないと遂に立派な卒業をすることが出來ないと云ふやうな次第になりまする、然るに日本の今日の衛生の狀態は如何であるかと云ふことを考へて見まするど甚だ幼稚なものでありまする、傳染病等に就てはいろ／＼規則等も大分出來て居りまするが、また／＼此の衛生の上に於て不完全な事が非常にあるのであります、殊に斯う云ふ現象がある、明治の十四五年頃に於きましては、一躰兵隊と云ふものを取る上に於て壯丁の百人の中の四五十人は甲種に屬したものでありまする、大變に身躰が良かつたのであります、然るに今日の有樣を見まするに百人の壯丁の中で前のやうな甲種に屬する所の者は僅かに七八人ばかりしかないと云ふやうな有樣になつて參つたのであります、殊に私は先般來青森縣北海道其他巖手縣等を巡廻をして歸りましたが、其際に巖手の盛岡に於きまして聯隊區に付て壯丁撿査の表を見ました、其時轉た感慨に堪へぬ事がありました、ソレはどう云ふ事であるかと云ふと、即ち七千四百人の徵兵撿査があつて其時に病を以てはねられた者が五千三百十五人ばかりでありました、如何でありませうか斯の如き現象を顯はして居る、實に日本にあつては全國皆兵と云ふことである、さう云ふ規定のある今日に於て、七千四百人の壯丁を集むれば其中の五千三百十五人と云ふものは既に病氣に罹つて居つて、兵役に從事することが出來ないと云ふやうな有樣である、斯う云ふ事は果して何の結果であるかと云ふことは後に御話しまするが、今表を申すとさう云ふやうな有樣でございます、夫れから又新潟縣から來られた所の軍醫に就て聞きまするど新潟縣に

於て壯丁を七千人檢査をした、其中の四千人と云ふものは身丈が低くて兵隊には取れぬ、今まで斯う云ふことはなかつたと云ふことである、是れは獨り新潟縣のみか、何れの處に於ても年々人の少さくなる結果として兵隊にとることが出來ないと云ふやうな有樣になつたのでありまする、東京府下に於てはソコの聯隊に屬する所の兵隊を一万三千人ほど檢査があつた、其中有病を以てはねられた者は七千人であります、斯の如く多數の人が病人になつて居る、殊に壯丁と云ふものは一番達者な血氣の盛りの所の壯丁である、其者が既に多數は病氣を持つて居ると云ふやうな有樣である、夫れから明治十五年頃に於て兵隊の重量がはかつてあります、ソレから又十年たつて明治二十五年に至つて兵隊の重量がはかつてある、十五年の時の重量と二十五年の時の重量と較べて見ると既に二百五十匁減つて居るのであります、

十年間に二百五十匁減る、實に大變な減りかたではありませぬか、又十六年兵と三十年兵との比較がありまするが、十六年より三十年に至る十五年間に於て五百七十匁減つて居るのであります、是れは陸軍の調でありますが軆育會の調に依てもさうであります、日本人はだん／＼少さくなつて軈て誠に小さい所の兵隊が鐵砲を擔いて戰さをする、エンヤラヤツと鐵砲を擔ぐやうな兵隊が出來るだらうと思ひます、何しろ非常な減りかたであります、是れに反して衞生の最も能く行はれて居る所の英國はどうである、彼の英國にあつては年々人が大きくなりつゝある、彼の國では百年毎に一寸延んで居るのであります、三百年間の統計は三寸延んで居ると云ふことを表明して居る、英吉利は衞生と云ふ事が非常に能く行はれて居る國であるから斯の如き有樣を呈し來つて居る、それに反して此國あたりと拮抗しなければ

ならぬ所の日本にあつては年々人が小さくなる、英國はなぜ人が大きくなるかと云ふと躰育が非常に盛んに行はれて居ります、英國の婦人など丶云ふものは非常に能く歩く、往來でも何でも始終どん／＼歩いて居る、日本の婦人は容易に歩かない、彼の國の人は運動することが能く行はれて居る、其結果で人が皆大きくなりつ丶ある、又獨逸國は如何である、獨逸は人が矢張り大きくなりつ丶あるのでありまする獨逸の騎兵が着る所の鋼鐵の具足などはモウ既に以前の物は今日の兵隊が用ゐることが出來なくなつたのである、なぜかと云ふと昔のは小さくて仕樣がない、日本では昔の具足を今日の人が着ると重くて動くことが出來ない、のみならず大きくて仕方がない、下へいろ／＼な物を加へたりしてふくらして始めて身躰が合ふと云ふやうな有樣であります、然るに獨逸の國にあつてはさう云ふやうな有樣である、夫れから又他の事で衞生の有樣を較へて見ますると日本の種痘の有樣はどうである、日本に於て種痘をするには區役所が干渉してするとか或は警察が言ふて廻るとか云ふやうなことで始めて種痘が出來るやうな有樣である、明治の聖代に於きましても大變に此の傳染病なる即ち疱瘡が流行する有樣でごさいまして實に殘念なることであります、是れに反して獨逸國はどうである、獨逸の人などは小供が生るれば必ず種痘をせんならんと云ふ考を持つて居る、催促をしなくとも皆種痘をする、其結果はどう云ふ事を現はして居るかと云ふと、一昨三十年度に及び即ち千八百九十七年にどう云ふ結果を現したか、五千五百万の人口中に於て僅かに六人はかには疱瘡の患者が出來ない、たつた六人であります、それでもあちらの人はソレが出來たと云つて大騷ぎをする、日本ではどうです、三十年の東京府下の疱瘡の患者

はどれだけあつたと言ひまするど實に澤山あつた、僅か二百萬人に足らぬ東京府下で六千八人百と云ふ疱瘡患者が出た、各人皆うゑ疱瘡と云ふものは斯う云ふ方法であると云ふことを知つて此病氣に子供を罹らしてはならぬと云ふ觀念が少ないのだある、其の結果として斯く澤山の病人を出してソレが爲に實に澤山の金を使ふと云ふ有樣でございます、開明の國にあつては疱瘡など丶云ふものは見やうとしても見られない、爲に之を研究することも容易に出來ないのであります、

夫れから腸窒扶斯の如き傳染病は大概何れの國にもある所の傳染病であります、彼の國に於ては頻りに水道の改良とか下水の改良などを致し、ミユンヘンと云ふ處に出來て以來今日は一人も此の腸窒扶斯患者が出來ない、大學の先生が、即ち醫科大學の先生が腸窒扶斯の講釋をするのに其の物を生徒に見せることが出來ないと云ふ有樣になつて居る、ブ大學の先生はさう云ふ傳染病が破究したければ東洋においでなさい、殊に日本へおいでなさればペストもあれば腸窒扶斯もあり、痲疹もあれば疱瘡もある、御研究なさるに至極御便利であらうと云ふことを大學の教授が言ふたと言ふことである、是等の事は甚だ耻入る次第であります、夫れから又衞生の比較をしましても分りますが、日本人の生きて居る年月と云ふものはどれだけである、即ち其平均數は三十六年乃至三十七年であります、是れに反して衞生の能く行はれて居る獨逸だの英吉利など丶云ふ國は實に長いのであります、英吉利は一番衞生が能く行はれて居る結果として五十二年乃至五十三年であります、是れは生れて直ぐ死んだ者も年を老つて死んだ者も合せて平均した數でありますが五十二年乃至五十三年、日本人よりは丁度二十年間彼等は長生をして居

る夫れから獨逸の國では四十七年乃至四十八年であります、さう云ふ有樣で實に大變な差があるのであります、是れは皆衛生が能く行はれて居る結果でありまする、此前に演説をしました時に榮養のことに就て御話を致しましたが榮養のことに至つてもあちらの人は榮養物を能く食つて居る、日本では香物にお茶漬がなか〳〵多い、乳や肉の進まぬのには驚くほどである、殊に女のお兒さん方は學校へ行つてから辨當を速く食はにやァならぬと云ふやうな習慣がついて居る、此の習慣はどうしても打破つて仕舞はにやならぬ、お飯を食ふ時には緩り澤山食はにや可かぬ、學校の先生でも速くお食りなどゝ言はないで御緩りたんとお食んなさいと云ふやうにしないと遂には健康を害すやうなことになる、私共の宅にも一人娘がありまするが――一人ぢやァない澤山あります、學校へ行くのもありまするがソレが言ふのに速く食べなければならぬから自然餘計持つて行くことが出來ないと云ふ、次第に少なく食ふと云ふやうな有樣になつて居るソレですから學校から戻るとおさつが欲しいとか何とかいろ〳〵なことを言ふ（笑聲起る）成るべく規定の時間に緩りと澤山食ふやうにする、帶をゆるく結んで澤山食ふ、澤山食はなければ丈夫なる子を産む所のお母さんにはなれぬのであります、帶を結ぶに堅く締めると云ふことの害は此前に私が説いて置きましたが、帶が堅くては餘計食へられませぬ、序でに申しまするがどうしても榮養が少ないと勉強をしても能く頭の中へ覺えて居られないのであります、ソレで勉強をする人は必ず頭を使ふ、頭を使ふには是非とも食物などにも十分注意をして行かねばなりませぬ、此頃は修める所の學科と云ふものは澤山になつて來た其結果としてどうしても榮養を進めねばならぬのぢやけれとも其の榮養

は昔と同じことで學ぶ所のものは大變殖えて來たと云ふ有樣である、斯の如くなれば詰り早く年を老つて仕舞ふ、身體が役に立たぬやうになる、五十にもなればモウ老人、孫の三人も連れて公園に遊びに行くと云ふやうになる、そんなことぢやァ可かない、西洋の人が長生をすると云ふのも頭が確かなのであります、彼のモルトックはどうでしたモルトックと云ふ人は獨逸の賢士でありますが九十一年まで生きた人だ、九十一年の際に今の獨逸天皇陛下は軍隊を率ゐて誕生をお祝ひにおいでになつた事がある、さうすると陛下と握手をしてモルトック老たりと雖も獨逸皇帝の國旗の下でなけらにやァ斃れぬと云ふ言葉を發して居る、九十一歳の老爺さんです、日本にも三浦の大助と云ふやうな者もありまするけれどもソレは昔の話あちらでは八十歳や九十歳で頭のぼけるやうな者はない、日本の人は八十歳だ九十歳だと云へばモウ生きとるやら死んどるやら分らぬやうな有樣の人が多い、先づ長生をして居る間は達者でなければならぬ、彼のビスマルクは矢張り九十一で死んだのでありますが、七十四歳の時に土方伯の御話に依りますると公會へ出て四時間も演說をした、さうして反對黨がいろ〱持出す問題を六時間もイ立つて七十歳の老人が滔々辯論をしたと云ふことである、是等は日本人の遠く及ばぬ所であります、此の老宰相の一言がどれだけの世界を動かしたか分らぬのであります、是等は何故であるか、みんな彼等は運動と云ふものをよくしてさうして長く學問をすると云ふことに骨を折つて、而して躰育を盛んにした結果で皆斯く丈夫なのであります、小さい時から無闇に學藝を敎込んで速く學者にしやうと云ふやうな考であるから大變に人が弱くなるのである、大學の學生を見ても皆色が蒼い瘠せた化物みたやうな身

躰の人が多いのである、そんな事ではならぬのでありまする、みんな身躰を丈夫にして長生をして長い間に學問をすると云ふ方法を採らにやァならない、是等は皆歐羅巴の事と日本の事を平均して比較した御話でありまする、して見ると彼の英國が世界に鳴る、獨乙が世界に威張ると云ふのは皆土臺は其の國民の健康が即ち基になつて居るのでありまする、其の健康なる國民を産む所のお母さんになる衞生と云ふものは最も能く行はねばなりませぬそれで衞生を進める、殊に婦人の衞生と云ふものが進んで大きな婦人にならにやァならぬ、青森縣下に行つて見るとみんな殆ど帶は一切締めませぬ、つゝつぼみたやうふ着物で上へちよつと紐か何かやつとる、風が惡るうございますけれども身躰の爲には宜しい、たまたま結んでも纖いものを結ぶが重に結はない位ゐのもの、其結果として身躰が大變に大きいのであります、

澤山の着物の爲に身躰を押へつけられない、ソレですからお尻の方からズッと見ても中々大きくて立派な身躰があります、就きて私は茲で着物の御話を致しまするが、宮殿下からもお心附であつたことを私は拜承して居りますが、實に總ての會があつたり何かしまするど御婦人方は直に着物の方へお氣がつくもので御座います、是れは十分注意をせねばならぬ、さう云ふやうな結果として衞生會などへ入つて來る人が減すると云ふ有樣ではならぬのであります、一躰絹の着物と云ふものは衞生上に取つては面白くないのであります、肌へ附く所の着物は木綿が宜しい、毛の着物はゴク宜しうございますけれども先つ木綿が宜い、絹と云ふものは身躰の温度を取ることが速い、其證據には絹の着物の濡れたのを御覽なさいます、絹の着物は忽ち乾いて仕舞ふ、これ速く温度を取るからであります、木綿の着物や何かは衞生上に

は大變宜いのである、殊に學校の小供には絹の着物などを着せぬやうな風習をつけにやァならぬ、夫れから袖の長いのは品は宜しうございますが學校へ行つたり何かするには宜しくない、殊に袂に握飯を入れたりしてブランコ〳〵して居るなどは甚だ醜い、兎に角私は木綿着物を御用ひになるが宜いと思ひます、衛生會においでになる所の貴婦人方も木綿着物が身躰に宜い、さう云ふ風習を作つて行くことは必要であらうと思ふ、前回にも既に殿下より御心附になつて居ると云ふことでありますが、どうか着物はさう云ふ風にして貰ひたいのであります、

夫れから日本人の身躰がどうして悪るくなつたかと云ふことを少し御話を致しませう、是れは畢竟するに教育と云ふものが盛んになつて、其の教育の中には智育德育と云ふものがありまするが、智育の方は一般に進んで來たが、躰育も衰へ德育と云ふものも衰へて來た結果だらうと思ふ、壯丁に出る人達の中にも隨分忌々敷い病氣の流行が甚だしいのであります、ソレで此の日本にあつては獨り花柳病ばかりではありませぬ、肺病の如き癩病の如き病氣がなかなか蔓延しつゝあるのであります、デ此の花柳病のことに就ては今日は御話はしませぬが、肺病もなかなか蔓延する、癩病もなか〳〵蔓延しつゝある、日本には癩病と云ふものは隨分澤山あります、今迄は是れはうつらぬやうに考へたが中々うつるのであります、試驗の結果に依りますると或學者が一米突――三尺三寸間を置て硝子を張つて話をさせる、さうすると黴菌が皆な飛ぶのであります、中々危險な病氣であります、家筋で傳はると言うて居つたが今日では家筋ばがりぢやない、血統のみでない、皆其者の即ち癩病患者の血統と婚姻をした爲に夫婦共に癩病になつた例が澤山あるのであります、然るに獨乙の

如きに至つては斯の如き不幸な病を持て居る所の者と結婚をしてはならぬと云ふやうな事からして殆ど無かつたが東洋と交際をするに至つて五千五百万人中に五十八人出來たのであります、ソコで獨乙は此の誠に國を亡ぼすべき所の病氣が斯く澤山出てはならぬと云ふので之を非常に氣遣ふて、一昨年萬國癩病會議と云ふものを組織した、ソレで各國から該患者の數を出せと云ふので日本からも出した、勿論日本ではざつと計算して出したのである、然るに日本が一番の位置を占めた、是れが兵隊とか金持とか學者とかなら宜いが、癩病患者は日本が一番である大關であると言はれた、其時の委員の顔は殆ど七面鳥であつた、赤くなつたり青くなつたり白くなつたり、眩暈がしさうであつたと云ふことだが左もあることでありまする、然るに皆さんは温泉場などへおいでなさるが、草津の温泉などゝ云ふ處は隨分危險な處であります、其他成田の不動や肥後の清正公などにも隨分澤山擂木をみたやうな手があります、斯う云ふ者の身躰に附く者は總て病毒を持つて居る頗る危險なものであります、彼の子持箸と云ふやうな物は皆癩病患者の血統がけづつて居る、然るを食物まで名物などゝ云つて持つて來る方もありますが、草津などへ行つて名物の癩病を持つて來てはなりませぬ、是等は餘程注意をしなければならぬ、今日本には斯く實に澤山の癩病患者があるに拘らず、此頃布哇國がアレが今度亞米利加へ屬ずるやうになつた、さうしまして彼處に一の癩病島がある、亞米利加の方では暗に之を解放し始めた、日本には草津と云ふ温泉があつて大變功くとか、傳染病研究所では癩病が癒るとか云つて、飛脚船が來る毎に癩病がやつて來る、モウ既に澤山あるのに此上に持て來られちやア尙ほ大變ですから是れに對しては後來に注意をし

なければならぬのであります、夫れから是れよりして私は傳染病の條件に就て、生存條件に就て御話を致しまするが、世の中に一番怖い物は何てありませうか、世の中に怖いものは地震雷火事おやぢだと申しますが、私はソレより怖いものがあると思ふ、ソレは何であるか傳染病の流行であります、是れは中々火事おやぢところぢやアない、ソレで此の傳染病はどう云ふ事をするか、吾々に一番大切なるものは何であるかと云ふと生命であります、其の生命を奪ふ上に於ては傳染病に及ぶものはないのであります、日清の戰爭の時はどうでありました、戰爭でほんとうの戰さをして死んだ者はどれだけあつた、戰死者は千なんぼしかない、夫れから負傷の爲に死んだ者が二百何十人ほかには無いのである、然るに澤山の人が死んで居るが是等は何で死んだかと云ふと彼の龍山に於て赤痢の爲に死んで居る、平壤に於て赤痢や腸窒扶斯の爲に死んで居る、近衞兵が山海關を突かんとして旅順湖の方に澤山の兵を載せて行つた、其時はどうであつた、即ち船の中で虎列剌病を發して我が近衞兵は是れが爲に實に澤山死んだのである、其の當時は軍氣を沮喪すると云ふことで其事を一般に知らせることが出來ない隱すと云ふ風であつたが、私は其局に居りましたから今日は近衞兵が何百人傳染病に罹つたと云ふことが分つて居りました、戰爭でも何でも傳染病の命を取ることには適はぬ、本年は赤痢の爲に命を取られた者がなか〳〵ある、人はヤレ滊車が川へ落ちたの海嘯があつたのと騷ぐけれども赤痢の爲に死んだ者に較べて見れば何でもない、今日の官報に依りますると赤痢患者は十万七千七百十八人であります、ソレが爲に死んだ者が二万三千六百三十九人であります、如何でございます二萬何千人と云ふ人が死んで居るのでありま

す、ソレでも世の中の人は驚かない、併し生命を取ることに於ては此の傳染病ほど恐ろしいものはありませぬ且又このペストに至りまするど中々命を取りまするが、其事に就ては後から御話を致します、其外に傳染病は大變に財産を奪去るものであります、非常に金が要りますのみならず商賣も何も止つたりです、此事も後から御話を致しまするが其外に教育を妨ぐる、又軍事上に於て非常なる關係を傳染病が與へるのであります、今年あたりでも赤痢の流行の爲に大元帥陛下の統御在します所の軍隊が傳染病の爲に運動をすることが出來ない、弘前の八師團の如きは青森縣には廣い曠野がありまするに拘らず、其處では軍隊を動かす譯にはいかない、なぜかと云ふと赤痢患者の糞便が川に流れて居る大變な病人が病院へと行かずに自宅治療をして居ると云ふ有樣で軍隊を動かすことが出來ない、日清戰争の結果は六師團が十二師團となつた、兵隊が倍になつたけれども之を訓練することが出來ないと云ふやうな有樣、一朝戰さをしやうと云ふ場合に於ても後備や豫備と云ふものが病氣に罹つて居る爲に戰さをすることが出來ないと云ふやうな結果を見るのであります、私は昨年富士の山下へ行つて豫防の爲に演說をする際に當つて丁度豫備の點呼があつたのであります、然るに其の點呼に應ぜられぬ所の豫備の人が澤山あつたのであります、ソレは何故であるかと云ふと皆赤痢を煩つて居る爲に出られなかつた、斯の如く傳染病が軍事に及ぼす所の害は非常なものであります、其外どう云ふ事があるかと云ふと傳染病は國威を損す、傳染病がある爲に國威を損すのであります、彼の國は開けぬ國であると云ふことを示すのである、文明の度が進んで居る程衛生が自然進んで來る、其國の衛生如何に依て文野を分つことが出來るのであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る、衛生が進んで居らぬからアノ國にはペストがある、アノ國へ行けば傳染病研究は幾らでも出來ると云ふやうなことを言はれるのは實に慨嘆に堪へぬ次第で、其事に就ては先で御話を致しまする、是れより私は進んで本問題たる即ちペストに就て御話を致しませう、

## ペストの來歷

一年歷及本國　ペスト云ふ病は能く黑死病と言ふて居ります、傳染病の中でも最も恐ろしい所の傳染病でありまして、又傳染病中最も古いもの丶一つであります、誠に古くからある所の傳染病であります、其生國はどこかと尋ねて見ると青山博士などは四つを言はれた、支那の國に於て瘟疫と稱するものがペストであらう、夫れからチベツトの近傍其他安南の邊にもある、夫れから露西亞のメリベタリ及び亞弗利加のウタンダーと云ふやうな、さう云ふ處が本國であらうと云ふ、兎も角も初めはペルシヤの方から起つたものであつて、さうして東洋諸國に行はれた、地中海を越えて之に瀕する所の海岸にズツとやつて參つたものであります、其の病毒は多く船に依て遠方へ持て行かれる所のもので、交通の頻繁になる結果として此の病氣の來るのは免れぬ所のものである、又この流行の工合を見ますると、六世紀の流行と云ふことに就て御話をしまするが恐らくは遠く基督前に於て此の傳染病は行はれて居つたもので、其前に於ては埃及であるとかシリヤ、リユービアと云ふやうな國、其他東洋の諸國に猖獗を極めて流行の甚だしかつたことは其事蹟が今日に殘つて居ります、夫れから西歷五百四十二年に於て「ユスチニアン」帝時代に於てペストが流行した、此頃に於ては殊に「ペルガン」の半島を侵して行つて「トルコ」は流行の中心となつて居つたのであります、夫れから十

四世紀の流行、爾後毎世紀に於てペストと云ふものは流行絶ゆることがなかつた、其中で最も甚だしかつたのは千三百四十六年より五十三年に至る所謂黑死病であります、或は出血性疱瘡ではないかと云うたが其時には黑死病と云ふ名があつた、本疫は印度の「パーリー」より黑海を越えて伊太利などへやつて行つて佛蘭西、英吉利、獨逸、ポーランド、露西亞此の國々へ蔓延をして太西洋を渡りて亞米利加の方にも傳播をしたと云ふことであります、其時は全世界を襲ひまして二千八百万人と云ふ人が死んだ、日本の今の人口の半分以上、歐洲の其の當時の人口の四分の一は悉くペストに罹つて死んだのであります、其際に當つては伊太利はペストの中心で同國のプロレンスは千三百四十六年乃至五十五年の間に最も侵害を蒙つた、又同國の「ウェチシャ」の如きは九百年より千五百年に至る間に六十三回の大流行を見たのであります、夫れから十五世紀の流行、十六世紀の流行は等しく此の伊太利に甚だしくして紅海に於ける東洋との交通は撿疫施行の必要を感じたのであります、乃ち千四百三年には伊太利の「ウェチシャ」と云ふ處に撿疫所を設け、東洋より來る所の船に對して四十日間の停船を命じた、其後に於ては千四百六十七年に伊國、ゼノアにも撿疫を始めた、夫れから佛國「マルセル」と云ふ港は千五百二十六年に撿疫を始めて開いた、次に十七世紀の流行でございます、少し長うございますけれどもどうか御聽取を願ひます、十七世紀には伊太利「ミーランド」の方を侵して、千六百六十五年には東洋より綿を積んだ船が病毒を和蘭へ持て行つた、此時英吉利とトルコでは斯う云ふ手段を行つた病人を一つの處に集めた、一つの處へ追やつて仕舞つた、其時殘つて居つた家族の百分の五はソレでもペストに感じたのでありま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す、夫れから又十七世紀の末に於ては十八世紀の末に於けるが如く伊太利、露西亞等では兵力を以てカランテーンと云ふものをやつて、隔離をして撿疫を勵行した、是れは非常に嚴重なものであつた、兵隊が番をして居つて內には入れない、其番をする兵隊が餘り退屈であらうと思つて人民が「カルタ」を與れた、其時に於て「カルタ」をやつたと云ふので其の兵隊も與れた人民も皆殺されて仕舞つたと云ふ、此位ゐ嚴重にやつた、「マルセル」にあつては其頃には綿だの毛だの紙、革類、衣服、襤褸の如き物の最も危險なる物として大いに注意をした千八百九十九年即ち本年は獨逸は埃及並に葡萄牙より輸入する所の襤褸類――ボロなどを危險な物として勅令を以て禁じた、日本に於ても當年は此の襤褸などの輸入は禁せられて居る、ソレは間にチヨツト御話を致したのであります、夫れから此頃に至つて實に殘念な事は和蘭に屬する印度の「ジヤワ」にあつては神戶から行く船は皆撿疫を行ふ、露西亞の浦鹽斯德に於ても日本から行く船に對して行ひつゝあるのであります、實に殘念な事でございます、十九世紀の流行に付て御話すれば矢張り伊太利に流行し、千八百十五年同國の「ノーマ」と云ふ處に流行をしたが之は兵力を以て隔離法をやつた、交通遮斷をしたから僅かに一部落で止めることが出來たと云ふことであります、爾後千八百四十一年來歐洲一般の狀勢が直つて「ペスト」は殆ど無くなつたのであります、併し尙ほ千八百四十三年に亞細亞トルコに於ては流行して居つた千八百四十五年に埃及に發して、ペルシヤには千八百六十三年には非常な流行であつた、千八百七十六年の末に「カスピアン」海に頻せる同國の「レツシユード」と云ふ處に流行して千八百七十八年の半ばに於て無くなつた、此際には千八百七十七年の四月に露西亞

の「パーク」と云ふ處で「ペルシヤ」から來る所の物に撿疫を施行した、夫れから千八百七十八年には露西亞の「アストラカン」に流行して其部落の家を燒いた、是れは千八百七十九年に至つて止んで仕舞つた、是れよりペスト豫防會議と云ふものを設くるの議が歐洲に起つたのであります、千八百九十四年に至つて香港に發して各國政府より研究委員を送つたのであります、日本からも青山北里の兩博士を送つた、さうしますると青山博士は「ペスト」に感染して九死の中に一生を得て助かつて戻られて、此頃では御國の爲に大變に働いて居られる實に危險極まつたことであります、ソレに就て石神と云ふお醫者さんも之に罹つた、又獨逸の委員中に於て「スチツクル」と云ふ人も等しく輕く感染した、墺國から出た「ミルレル」と云ふ人も國へ歸つて「ペスト」を發して倒れた、其際に當つて佛蘭西の大學者たる彼のペストの門下で「エルザン」と云ふ人はペストの黴菌を發見して、ソレを治すことを發明した、彼が唱へて居る所に依ればエルザンの療法をすると八割死ぬものが五割ほか死なぬと云ふことである、其ことは信を措くべきものかどうでありますか分りませぬが、墺國の委員「ミルレル」と云ふ人が罹つた際には此事が忽ち巴里へも知れ渡つた、其處で「エルザン」が直ぐ汽車で行つて、どうか此の注射をして呉れと云ふことを言ふたらどうか其注射は止して呉れと云つて死んだのでありますが、「ミルレル」は隨分學者でもあり研究をした人だが、之を拒んだのを見ると或は信を置て居らなかつたのであらうかと考へる、今回神戸に於て發生した所の「ペスト」菌は所謂「エルザン」が發明した所のものと同じでありますが夫れから此の來歷に就てモウ少し三行ほど御話しますが支那國は千八百九十四年來ペストを發せしため二十七八年の役に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は台灣にて流行するに至つたのであります、千八百九十六年即ち明治二十九年の頃に於ては餘程盛んであつて、今日までに台灣では五千人も病んで居る、孟買にては千八百九十六年來流行が絶ゆることなく今日迄で二十五万人以上の患者が出たのであります、是れから私はペストと生命と云ふことを御話致します、

一ペストと生命　先刻も申しましたが、人間として一番大切なものは生命であるが、ペストと云ふ病氣は其の生命を奪ふことは第一等であります、ソレに就て一つ御話します、ペストは前にも申したる如く最も恐るべき傳染病で、一朝本病に罹る時には十中の八九は死亡を免れぬ、今回神戸に流行する所の如きものは今日まで丶屆出があつたものが二十名であります、其中で二名だけは全くペストではなかつたと云ふことだが十八名と云ふものは神戸で發したと云ふ電報がありました、其の罹つた者は悉く死亡して居るのであります、未だなりたての者は生きて居るが四日目位ゐには大概倒れて仕舞ふ、「ペスト」の流行には毎回百人に付て平均七十五人即四人に付て三人は死んで居る、千八百九十四年以來臺灣では百人に付て七十九人、香港では百人に付て八十五人、牛莊では百人に付て八十五人、孟買では百人に付て九十人死んで居ります、千八百九十四年香港、安南等に「ペスト」流行の際は本患者の死亡する者は五分の四でありました、故に安南では流行部落の家を燒拂ひ遂に撲滅することが出來た、アモイなどに還入つた時は家を皆燒いて人民を或島へ移して仕舞つた、死んだ者も隨分澤山にあつたのでありますが、ソレが爲に病氣は無くなつた、台灣には二十九年の末方よりペストが流行して今だに其跡を絶たぬ、今日迄の患者は無慮五千人で其の四分の三は死亡した

のであります、二十九年には患者が二百四十六名で死んだ者が百四十七人あります、即ち百人に付て五十九人、七です、三十年には七百三十人の中で五百六十六人死んで居る即ち七十七人、五です、夫れから三十一年には千八百三十三人の患者で八百八十二人死んで居る、七十一人、五です、夫れから三十二年、昨年は十一月二十日までゝありますが二千五百三十五人と云ふ患者が台灣に出て其の死んだ者が千九百十四人、七十五人、五であります、二十九年には二百四十六人であつたものが本年はソレに十倍をして二千五百三十五人と云ふやうな工合に年々殖えて來たのである、傳染病ばかりは殖えるのは眞平御免だ、お金が殖えるのは宜しうございますが、こんなものが殖えた日には實に堪らぬ、孟買にては千八百九十六年の末より其の流行が絶えないで今日迄の數は殆ど二十五万に達して居る、死亡は十五万人と云ふことであります、牛莊ではゴク初めから三千人以上ペストに罹つて死んで居る、デ一番はじまりはどう云ふ者であるかと云ふと古着商、古着を扱ふ所の弟子が先へ罹つたのであります、夫れから今回神戸に大阪に流行のペストも古綿等より持て來られたと云ふことであります、だから餘程危險であります、東京などは隨分古着を買ふて着る者がありますが隨分危險な事であります、肺病患者の古着などは皆な消毒もせずに不親切に賣捌いて仕舞ふ、夫れからモウ一つ玆に申しまするのは斯の如き恐ろしい所のペストは開明の國には行かぬ、衛生の能く届いて居る所の國には這入いて行かない、實にペストと云ふ病氣がありまするど國の名譽に大變な關係を及ぼす、人智が低いと云ふことを現すのである、夫れから次にペストより起る損害を御話致しまする、・

一ペストより起る損害　若も一朝此國に傳染病を發

生する、即ちペストを發した時には直接間接に及ぼす所の損害は至つて莫大なもので、殆ど算じ難いものであります、彼の孟買と云ふ處の一の港の如きは千八百九十六七年と云ふ時に當つてどれだけの豫防費を出したか、二百万圓以上のペスト豫防費を出したのである、神戸では一万八千圓出したと云ふやうなことで、是れだけの金を國庫から出さにやアならぬ、非常な損害である、のみならず交通などを遮斷されますと何にも出來ない、商賣と云ふものも何にもあがつたりであります、孟買と云ふ處は非常なる盛んな港であつて、綿を澤山に出す、其港は林の如く帆柱が立つて居つたが、孟買にペストが流行するやうになつて船が一つも來ぬやうになつて商賣があがつたり、實に非常なものであります、神戸あたりでも襤褸等の輸入を差止められたる爲に三百万圓からの損害であると云ふ位ゐ、此の損害は實に大きなものであります、夫れから日本でも今古綿だの襤褸などの輸入が止つた、ソレが止ると後來日本に於ける紙を拵へたり綿を繰替たりする機械が澤山にあつても其ものは皆休まにやアならぬと云ふ有樣、ならぬではない今日既に休んで居る所が大變にある、東京府下の如きに至つても非常に紙の代價も高くなる、新聞紙もペストの流行の爲に將來或は騰るかも分りませぬ、其外にいろ〳〵です、是れから非常な流行であると云ふと牛莊から大豆が澤山來る、非常に大きな大豆です、船に何百万斤と云ふもの積んで居る、一つのかますが四圓五十錢もする、其豆が止るかも知れない、さうするとお互ひに豆腐も味噌も食へぬやうになる、夫れから其外に傳染病が流行をしまするど石炭酸が高くなる、石炭酸はあちらから取るのであります、高い處に行きますると一圓以上になつて居る、倫敦では平生二十五錢位ゐで買はれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るのに日本にペストが出た、日本は豫防をする國であるから必ず石炭酸を買ふであらうと云ふので、アチラの相場が現に四十何錢に騰つて居る、是れが爲に澤山の錢を取られにやァならぬ、傳染病に付ては一つも好い事はない、

一ペストと教育　夫れから先刻もチョッと言ひましたやうにペストは教育を妨ぐる、吾々の頭と云ふものは進んで來にやァならぬ、改正條約は實施されて居る今日先づ第一に進まにやァならぬものは教育であります、其の教育をすることが傳染病の爲に出來ないのであります、流行附近の學校は皆閉鎖されて居ると云ふやうな有樣で、國民の教育を害することは非常なもの、夫れから先刻も申したやうに、若しも是れが流行しますると軍隊を動かすことが出來ない、野外の演習などはマルデ止つて仕舞ふやうになります、

一ペストの蔓延　一躰の此の病氣は一度這入つて來ますると容易に出て行きませぬ、神戸の如きは前には葺合村ばかりでありましたが今日は荒田町と云ふ處へ出たのであります、ソレは楠公の社のある近傍の町であります、夫れから鐵道の處へ出るとかいろ〱に散在して來ました、此の病毒を餘程能く退治して仕舞はないとなか〱逃げては行きませぬ、年々始終發してさうして人を殺すに違ひない、實に怖い病氣であります、ペストと云ふものは病毒に觸れさへすれば直ぐに本病に罹ることは免れぬのであります、必ず罹るのであります、ソレだから病毒の附いて居る所の綿であるとか——古綿襤褸と云ふやうな物は皆媒介をなす物であります、誠に危險極まる物であります乃ち今回ソレが爲に輸入も禁じられた有樣である、或は郵便からも來るかも知れませぬ、故に此頃は宮中にあつては餘程郵便物などにも氣を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附けにやアならぬやうになつて、皆ホルマリンと云ふ瓦斯で消毒をさして宮内省に納まるやうになつた、宮内省でも餘程お氣をおつけになつて消毒をせぬ郵便物は一切這入ることが出來ず又其の病氣のある地方から來た者は九日間は宮内省へ這入ることが出來ないと云ふやうな御規定が一般に御達になつて居ります、夫れから又ホルマリンと云ふは規定の消毒藥ではございませぬけれども、肺病や何かの消毒にも用うるが宜い、此れは淺草の松葉町に東京瓦斯消毒所と云ふものがある、衣服でも何でも品質を損することなくして消毒する、宮内省ではお茶を消毒したが是れはどうも臭ひが移つて役に立たぬと云ふことだ、兎に角何でも消毒の出來る瓦斯であります、夫れから蔓延はどう云ふやうな物でするかと云ふと蚤、虱、南京虫、蠅、蚊、鼠は殊にペスト蔓延の媒介をしまする、殊に清國臺灣等では鼠はペストの流行に先つて倒れる、彼の有名なる「コッホ」先生は是れは鼠の疫ぢや、鼠の病氣ぢやと云ふことを言はれた、ソレが爲にペストが流行すると鼠は大變に迷惑をするんです、鼠を取るには機械的に之を取るのが宜い劇毒藥か或は外の藥物を用ひて取るのは面白くない、劇毒藥などで取ると若し其鼠が外へ行つて死んだり何かすると非常に害をなす、一匹五錢呉れるから鼠を取つて來いと言つた所が忽ちにして六百からの鼠を取つたと云ふことでありますが、是れは儲けやうと思つて田舍へ頼んで一錢位ゐで買ふて持つて來たのださうで、此際に於て斯う云ふ狡猾な奴も出て來る、奈良縣では二錢です一匹二錢の懸賞を以て取らして居る、

一ペストに對する注意　總て傳染病は不潔でありますると蔓延をしまする、殊に跣足で歩くと云ふやうなことは誠に危險である、塵埃の中などを歩きま

するから危險であります、夫れから紙屑を拾うて歩く所の者なども皆危險である、襤褸を取扱つたりなどするやうな者へ重に蔓延するのであります、デ此のペストと云ふやうなものは年齢男女と時候とを構ひませぬ、どのやうな小さい小供でもどんなおばあさんでも罹るのであります、壯年の者も幼年の者も皆ペストと云ふやつは侵す、大概傷から來るのでありますから非常に危險であります、夫れから時候が冬でも夏でも春でも秋でもお構ひはない、いつでもやつて來る、ソレであるから怖いのであります、虎列剌の如きは時候に依て消長がある、寒くなればさう出來ない、ペストは寒くつても暑くつてもやつて來る、一遍其國へ這入りますると實に危險であります、虎列剌の如きは年は間が置て流行します、安政年間の頃に於て流行した、安政四五年の頃、夫れから明治十年に流行した西南戰爭の時分、夫れから十二年、十五年、十六年、十八年、十九年、二十四年、二十七年、斯う云ふ鹽梅に間が置て流行する、黴菌が無くなつて、死んで仕舞ふ、然るにペストはさう云ふ譯には行きませぬ、いつでも流行をします、

モウ少し是れから御話をしまするがペストの豫防に就ては實に澤山の方法があります、大日本私立衛生會に於て豫防法と云うて、書いた物が發布されて居る、澤山にありまするから御入用の方には何枚でも上げます、ペストの豫防の第一着に氣を附けんならねのは――ペストばかりぢやアない衛生の上に於ても非常に注意すべきは清潔法であります、清潔法は是非やらにやアならぬものである、日本人と云ふものは一躰潔癖であるです、奇麗好な方の質である、然るにこの塵埃を掃除するとが割合に嫌ひである、ソレで其の清潔法が第一であつて、ペストの流行時にあたつてはゴミと云ふものが非常に害があるの

で、之を燒棄るのが一番であります、出たゴミは燒棄てさうして日々此の清潔法をやるのが宜い、此れは詰り轉げぬ先の杖であるから皆やらにやアならぬ、轉ばぬ先の杖だからと云つて杖を振廻しちやアいかない、豫防と云ふポウを振廻さにやアならない、ソレには棒にも及びませぬから帶でも宜しい、清潔法には帶を用ゐ、夫れから又便所の如きは十分に消毒するのが宜いのであります、なぜかと云ふと黴菌と云ふものは重に尿中にある、患者の小便の中に澤山のペストの黴菌が居るです、是れは前に少し注意をすると云ふことが宜い、大便の中にも少しは居るさうです、ソレは試驗的にやつて見たのですなア、動物の脊中へ汚ない御話ですけれども糞を搨付けて——患者の大便を附けて其の動物にペストが發生したと云ふことである、大便と云ふものも十分に注意しなければならぬ、夫れから風呂へ這入るが宜い、日本のお方は大概風呂好である、首の邊に垢が隨分附いて居つても中々這入らうとなさらぬ方もあるが屢々お湯に這入ると云ふことが宜いのであります、疵は清潔に保つて置かんければならぬ、身躰を清潔にしても若しも疵があれば危險である、傷があつたらリスリンでも附けるとかヒヽ藥をおごつて附ける、決して此の垢切、ヒヽ、逆むけの如きも等閑にしてはなりませぬ、ヒヽや垢切、逆むけは豕の油でも能くつける、さうして奇麗にして置く、夫れから必ず足袋を穿くと云ふことをさせねばならぬ、ハダシは一切可けないのであります、夫れから衣服や夜具は清潔なのを要する能く洗つて用うる、天絨鵞の襟、繻子の襟などは私は大嫌ひだ、どうか木綿の白襟にして貰ひたい、白襟と云ふものは實に清潔だ、皆さんお宅へお歸りになつたならば、お母さんお蒲團の襟は黑いのは可けないさうだから白い木綿をか

けて頂戴と仰つしやると宜しうございます、又日光に照さにやァならない天氣の好い時には家財でも何でも干すと云ふことは實に良い、蒲團や夜具なども能く干して置くと若しも黴菌が居つても日光の爲に往生して仕舞ひます、夫れから若しも汚ない物はアナタ方の家には無論ございますまいが、汚ない役に立たぬ物は病毒の媒介をするものであるから燒棄て仕舞ふが一番宜しい、夫れからこの清潔法に依て驅除するものは昆蟲であります、實際清潔法を行へば床の下の蟲などゝ云ふものも皆恐れて逃げて仕舞ふ、ソレて持て行つて石灰などを打掛けますから大變に良い、怠つてはならぬのである、夫れから先刻も言ふた鼠であります、此頃は大分死んだ鼠が見えます、是れは取つた死骸を捨るものと見える、若しも路などに死んだ鼠が居りましたら警察へ屆けるが宜い、ぢかに指を以て捨ふと云ふことは危險であります、箸で扱つて石炭油をかけて燒くのが宜い、何しろ是れは危險なものであります、夫れから學校におつては健康診斷を行ふのが宜い、皆さんも時々お醫者さんに診察して貰つて傷があると云ふやうな時には直ぐに手當をしなければならぬ、甚だ申上げかねますがこの内股の所にグリ／＼などが出來る、是等を診るのは御婦人に對しては誠に容易ならぬことである、大阪近傍では御婦人にシコを踏んで御覽なさいと云ふさうだが、御婦人がたにシコを踏ませるは隨分おかしからうと思ひます、けれども病氣を診る手段だから敢て辭することは出來ない、學校に於ては健康診斷は必要である、家庭に於ての衛生と云ふものは最も嚴にしなければならない、小供だの婢僕、下男下女などに於て最も注意してやらにやァならない、若しも不幸にして家庭の衛生が屆かぬ爲に、婢僕が垢切などをきらして置て、さうして此病氣に罹

つて病院にでも送られるやうなことになれば其家は遮斷をされると云ふことになる、誠に危險ですから氣を附けにやアなりませぬ、隨分下女などにはヒヤがどつさり切れた人があります、さう云ふ下女にはヒヤ藥を氣張つておやんなさいまし、其藥を能く附けさして而して風呂錢でも氣張つてやるのです、夫れから此際に於て種痘が惡るいと云ふやうな人がございますが、種痘と云ふものは決して惡るいことは御坐いませぬ、創傷を拵へるからいけないやうだが、種痘をするには規定通り能く消毒をして貰へば決して危險なことはないのであります、ソレでモウ追々寒くなり疱瘡が來ますから餘程注意をしなければなりませぬ、御話が大變に長くなりますから是位ゐで置きまするが終りに臨んで私は皆樣に申上げて置かにやならぬことがある、實に我が帝都にはどうしても傳染病を入れぬと云ふ覺悟がなけらにやアならぬ、私共も當局者の一人でありまして豫防に從事して是れが流行地を巡廻致しましたが、私は三時間より長く寢たことはない、時には三日も夜通しやつて歩いたこともある、實に平時の戰爭をすると同じことであるから油斷をしてはならないのであります、殊に此の帝都に居る人民と云ふものは注意に注意をしなければならぬと思ふ、なぜかなれば斯う云ふ有難い御話がありまする、勿躰ない御話がありまする、皆さんも御存じでもありませうが此れは即ち官報でありまする、此の官報を一天万乘の天皇陛下は朝々御覽遊ばして、さうして衞生と云ふ所に於てペスト及び赤痢の流行等が書いてある、ソレを御覽遊ばして實に御心配になつて居る、万々一吾々が不注意よりして是等の傳染病に罹ることもあらばお上へ對して忠義と言はれませうか、是等は當局者は無論のこと、何れの人たりともお上へ御氣遣を



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かけてはならぬと云ふ觀念を持たなくつちやアならない、英照皇太后お崩れの際に當つて斯う云ふ事がありました　兩陛下は卽ち京都の方へ御臨幸遊ばしたのであります、其際に於て御留守中に東京に麻疹がはやりました、さうしまするとと侍醫にお尋ねになつた、朕が留守の間に大變に東京では麻疹がはやるさうだ、今日までドレ位ゐの患者があると御尋ねの時に侍醫局長は御答へ申上げることが出來ぬから、直ぐに皇宮警察へ問合せがあつたが分りませぬ外の傳染病なら屆出があるがハシカには屆出がないから分らない、ソコで私の處へ皇宮警察から又お尋ねになつた、ソコで私は麻疹の屆出でを出した事があります、如何であります麻疹がはやつてすら上御一人は人民がどれだけ病むであらうかと云ふことを御氣遣になる、況して赤痢、ペストなどを自分の不注意よりして蔓延をするやうな事があつてはお上へ對して濟まない、ソレで吾々は最も堅固であつて、さうして長生きをして、有難い天子樣の爲に君が世を謡ひましたならこんな御目出度いことは私はないと思ふ、どうか皆樣に御願ひ申しますが斯くも上御一人が御氣遣になつて居ると云ふ話をお歸りになりましたら大勢にお傳へにならむことを希望します、餘り長い御話で甚だ御迷惑でございましたらうが、此次には何か面白い皆樣方の飾りになるやうな小間物店を出して飯島博士の御話が後にあります、私の面白くもない御話を御淸聽になつたと云ふことは皆樣に厚く御禮を言ふ所であります　（一同默禮）

## ●大家諸氏のペスト談

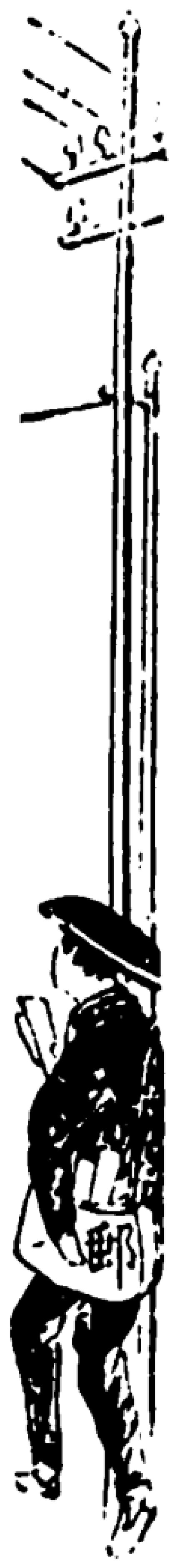
去月十日大日本私立衞生會にては東京偕行社に朝野の諸大家行政要路の人及び會員諸氏を招きペストに關する豫防策に就きて懇和會を催せり本會へも案内せられたるをもて參會せしが先づ同會の副會頭長與專齋君には開會の主意を述べられ次いで協議會に移る筈なりしも先づ出席大家の意見を發表せらるゝことゝなし醫學博士緒方正規君には登壇せられたり博士は先づペストに關する太古の歷史より說き起して曰く

### ●ペストの歷史

ペストは紀元二三百年以前に於ても流行せしものにて紀元五百四五十年の頃には埃及、パレスチナ等より流行して住民は之れが爲めに全滅に歸せしこともありてそこには遂に猛獸の棲みたる事もありとか但し其時代には天然痘も共に流行せしとの事なるが十四世紀の頃に至りては又全世界に擴がり其初めは支那より發生して次に歐洲より北極地方にまで蔓延し土民の亡滅せし處ろ又少からざりしといふ此ペストの毒は重もに通商交易によりて傳播し十四世紀には獨逸に百五十万人の死亡者を出し十六世紀に至りても又數回の流行あり今世紀にも埃及、メソポタミヤ、ペルシヤ、アストラカン等に蔓延せしが是は歐洲に於ける最後の流行なりしとなり支那にては瘟疫と稱へ年々流行せざることなく去る二十七年には廣東、香港に發生して各國よりも研究者を派遣し我北里青山兩博士も研究に從事せられしが青山博士は遂に感染せられしことは人のよく知る處なり其後香港臺灣

にも年々發生し二十九年には緒方山極の兩博士も助手も共に渡航研究せられたり支那に於ては本年の如きも二千五百餘名の死亡者あり要するに其傳播の原因は船舶によりて各港各都府に蔓延せしむるに至りしとなり

今回神戸、廣島、大坂にペスト患者の發生するや北里、緒方、中濱、の諸氏も現場に出張せられたるが我邦に於ては是迄に嘗て此病氣の、發生したることなかりしが臺灣の我有に歸してより未だ時日もあらざるに神戸に大坂に二十餘名の病者死者を出すに至りしが是尤も危險なることなれば其蔓延せざるに先ちて早く撲滅の方法を講ぜざるべからずと



## ●ペストの病狀

ペストの重なる病狀は四十度の惡寒を以て初まり股の腋の下等のグリ〳〵が腫れる其腫れるのには甚だしき痛みありて豌豆位のグリ〳〵が鷄卵、鵞鳥の卵位になる梅毒の横根とよく類似せるものなれども梅毒は一概に左樣に腫れるものでなく又餘り痛むことなきものなりペストのグリ〳〵が膿をもてば快復の望あり黒き小疹を全身に發するをもて所謂黒死病とは名けたるものなるべし其症狀により一樣ならずして血を吐くものありて、之れは多く死を免れずといふペストは發病後三日間が一番烈しきものなれば三日を經過すれば先づ多少快復の望ありといふべし

## ●ペスト菌と其形狀

ペスト菌の發見に就ては北里博士の說もあり又エルザン氏の說もありしが、緒方氏、中濱氏の研究によれば之れはエルザン一人の發見に歸せざるを得ずとの事なるが後に北里氏も此說に同意せられたりとい

ふ而してペストの病源菌は内臓、血液、咯痰、等に含有す其形ちは恰も蠶の繭の如く其生活のものは呼吸氣又は創の面に入ればよく蕃殖し一晝夜の内に豆か鷄卵か鶩鳥の卵位に大きくなり遂に内臓に入り血液に入り算すべからざる黴菌の數となりてペスト菌の増すに當り一種の毒を製造す死者の排泄物にも血液にも含有するもの故に患者の汚染したるものは悉く焼き棄るをよしとす尤も危險なるものは肺炎患者にして痰を霧の如く室内の空氣に措き散らすにより醫師迚も呼吸器を用ゐざれば至つて危險なりとす其菌を培養するにソップに植え置くときは躰温又は室内の温度にてよく發生すコレラ腸窒扶斯の如きは攝氏の十五度にては發生せざれども氷點位にても又發生す但し光線の爲めには死滅すといふ

●洗足の悪しきこと

洗足の悪しきことは重に足の外傷部より淋巴管を通りて次第に内臓に吸收さるゝが故なり蠅、ノミ、虱、蚊等は尤も注意すべし患者に接したる醫師も看護婦も皆充分の消毒をせねばならぬ支那にても香港にても何れも不潔の地に生じて外國人の家には發生したることと少し今回發生の神戸葺合村の如きも又不潔なる所なりされば不潔の場所は悉く掃除して清潔法を勵行すべきは尤も急務なることとなりとす

## ●潜伏期咯痰の檢査

ペストの潜伏期は十日以上を越ゆることなく發病してよりは五日以内に斃るゝもの多く黴菌の撿査は咯痰及び血液を撿査するに三分の二以上は血液によりては充分に確定すること能はずといふ

## ●人のペストに罹る前には

### 先づ鼠死す

ペストは土地の高低に關せずして其清潔なると不清潔なるとに關す而して支那にても又今回内地の流行にても人のペストに罹る前には必らず先づ家鼠の斃死すること是なり元來ペストは鼠の傳染病なりしが遂に人に迄感染するに至りたるものなれば若し家鼠の斃死することもあれば其家に棲める人々は直ちに立退かざるべからず然らざれば數日ならずして病毒に感染するに至るは是迄の實歷に徴しても亦明かなりサレば今回發生するに際しても既に〳〵家鼠には蔓延し居ることは確かに證明することを得べしといふ尙又鼠のみならずノミよりも傳播することありとて臺灣に於けるペスト鼠に附着せるノミの研究を報告せられ

終りに豫防の要點を擧げて演説せられき、

## ●諸大家演説の摘要

次に中濱醫學博士には神戸、廣島に於ける實地踏査の狀況及豫防法等に就き演説せられ丸茂醫學士には大阪桃山病院に於けるペスト患者診察の情況と氏の希望を述べられ柳下士與君には衞生行政の不整理に就て論難せられ次に福井某氏のペスト視察談あり北里博士にはペスト菌はエルザン菌を以て唯一の病原とすべきことを承認せる旨を告げ延いて今回發生傳播の模樣を述べて捕鼠の方法は懸賞を以て天下に募集すべしと論じ玆に來會者より種々面白き質疑もありて終りに長與副會頭は清潔法に關する注意

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と同會の希望とを述べて閉會を告げ別室に於て立食の饗應ありて午后六時半頃一同散會せり

## ●猫と鼠

北里博士は捕鼠の方法は天下に懸賞を以て募集すべしと論ぜられし當時某氏は質問して曰く猫は鼠を捕るものなり捕鼠の方法として猫を採用しては如何又ペストに罹りし鼠を猫の食ひし時の結果如何と博士曰く鼠にペスト菌を植えしは只一回にして未だ充分の研究を積まざれども猫に對するペスト菌の感染は極めて鈍ぶかりしと尚充分研究の上にて報告すべしとの事なりしが結果によりては猫一疋の價鼠に倍することと夫れ幾何ぞや

## ●中濱博士演説中の一片

清潔法は極めてよしといへども塵芥の仕末の悪しきは各所より口說の出づるは免れざることとなり眞の清潔法は道路下水等の完全でなければならぬが歐洲にては兩便を悉く燒く方法を實際に行ひつゝある處あり現にベルリンのホッタムと云へる處の近衞砲兵の營所にては便所に直ぐ釜を据へ付け置き三百人に付一周間に二度燒くを以て足れりとて塵芥掃除の方法を述べられ

## ●日本人は新らし物ずき?

終りに今回ペスト發生に就ては實に何事も省みず只ペストのみにサワぎ其他是迄猛烈に流行しつゝある傳染病には毫も懸念せざるものゝ如し是れ日本人士は新らし物ずきとでも言ふべきか赤痢は去年十二月迄の患者數は實に十万七千九百五十一人死亡二万三千七百七十六人に達せり尚ペスト赤痢よりも恐ろしきは肺結核なり明治生命保險會社の統計表によれば五人半に就て一人の肺病患者あるの割合なり假令へば來場諸君の五分の一は肺結核にて死するものなり歐洲にては下等社會の者に多しといへども日本に

ては反對に中等以上の人々に多きを以て特にペストより赤痢より尚一層恐ろしきものなれば決して等閑に附すべからずと述べられしが味い哉此言や

## 中外彙報

◉印度支那總督の厚意　我政府は曩に本邦駐在佛國公使ハルマン氏に依頼し印度支那總督に向つてイェルサン血精の買入方を申込みたるに過日同總督より公使に其返電あり日本政府入用の血精は既に出荷したれば不日貴地に着ずべし尚必要に應じ何程にても永遠に送附すべく代價逓送費共一切申受けずと申來りたりと

◉內地ペスト患者　本年に入りてより漸く旬日間に內地ペスト患者の死亡總數は十七名にして內目下治療中の患者三名死亡十四名なりしと

◉臺灣のペスト　本月三日より七日までの新患者九名中死亡者五名にして本年一月一日より總計は患者十八名死亡者五名なりと云ふ

◉香港のペスト　十二月十六日に終る一週間香港に於ける死亡者は日々一名宛にして最初よりの患者總數一千四百七十三名死亡者總計一千四百十三名なりと在同地上野領事より報告ありたり

◉惡疫豫防委員の任命　宮內省にては關西地方にペスト病發生以來漸次蔓延の憂へあるより凡べて同地方經由者若くは信書等に對し嚴重に檢査を施しつゝある…… 防番宜委員を設けられたり

◉隔離舍の落成　昔臘より建築中なりし新橋健康者隔離室は既に落成し備付品等も整ひたれば何時患者を發生するも差支なきことゝなれり

◉顯微鏡室を設く　東京市役所衞生課にてはペスト豫防の爲め中濱博士を顧問に依囑したるが尚顯微鏡

を備付くるの必要あるより府廳正門入口右方の建物を以て同室に充つることゝなれり

◉流行性寒冒及痳疹の流行　昨今寒氣の酷烈なると共に流行性寒冒及小兒の痳疹大に流行せるが該病は其極遂に或は肺炎を惹起す恐れあり而して肺炎は彼の黒死病と關連する處ある病症にして頗る危險なれば時節柄大に注意すべきことなり

◉警視廳檢疫事務擴張　警視廳に於てはペスト檢疫事務擴張の爲め昨日更に各區及び各郡に一名宛の檢疫醫を採用し夫々任命せりと其手當は一箇月一人七十五圓より九十圓以內支給する筈なりと云ふ

◉鼠買上初日の光景　去十五日を初日として市內一般に鼠買上を實行したるが當日は京橋區のみにて其數三百十六頭に上れりと云ふ左れば十五區にては無慮四千頭にも上るべしといふ

◉滊車檢疫設備の達　去十五日警視廳より管內各鐵道會社に對しペスト豫防の爲滊車檢疫に就て一の通牒を發したり

◉一好一對　傳へ聞く臺灣の某勅任は頗ぶるペストの傳染を恐れ其の豫防として躰中蚊蚤などの喰ひたるあとをさがして一々紙片を貼り付け面上貼子人形の如しと某士此のごろ關西に旅行して双手の爪迄悉く貼りくるめ上に手袋を箝めたる人あるを見る一好一對といふべし

◉肺ペスト　ペストの中にても最も恐るべき肺ペストの大阪に初めて發生せしは客月十九日なるが爾來同症にて斃れたるものゝみ十四名の多きに上りたりと云ふ

◉會社の恐慌　ペスト流行と共に各會社就中輸入品取扱ひの會社は大恐慌を起すべし職工の缺勤多き事是なり大阪の金巾會社など職工は「命ありての物種」と出勤せぬ連中尠からずといふ



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉乳牛取締法案　中央衞生會にては乳牛の內結核病に罹れるものは六萬餘頭現在の見込なるよしなれば同法制定までは充分煮沸の上飲用すべきことなりとぞ

◉烏の死躰警察に上る　芝公園內に烏の死骸一匹を發見したるが腹部のフクレ方怪しむべしとて同所の巡査某は解剖の爲め其の死骸を警察所に持參せるよし

◉白鼠問題　其筋にては白鼠は買ひ上げざることに決定したるよしなるが芝區の人民より頭のみ黑く餘は白き大なる鼠を持參せしをもつて金錢支拂に付一議論を生じ市役所の差圖を待つことゝなりしよしなるが又本所區役所へは此事を聞き白鼠澤山を特參し芝區にては白鼠にても買上げ居るよしなれば買ひ取られよと迫りしものもありといふ

◉腋の下股のグリ〳〵　去十三日横濱の娼妓小菊は腋の下に淋巴腺腫を生ぜしを以て一時ペストならんと大騷ぎせしも實は梅毒のグリ〳〵にて大安心又去十二日名古屋よりの上り列車中乗客のうち股に甚だしきグリ〳〵あるを撿疫官の認むる處なり大に驚き消毒法を施せしも是も梅毒のグリ〳〵と分り是も又大安心

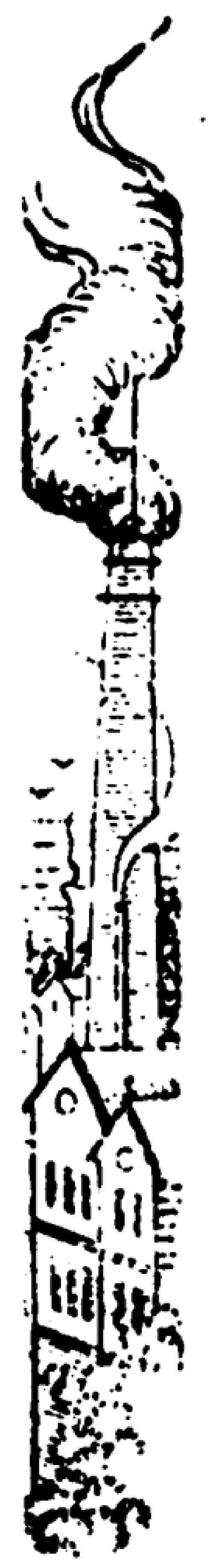
# 食物調理法

●牛肉の雞卵燒（第三）

牛肉を充分細かにたゝき雞卵をよき程割りて丼の中にて能くかき立て松魚の煮出しに味淋と醬油を加へて鹽梅しこれに雞卵を交ぜて又よくかきたて（雞卵燒するより少しかたくする方よし）此中へ肉のたゝきたるを交ぜ饂飩粉少し混和てさて雞卵燒の器を火にかけ胡麻の油をしき其中へ雞卵の肉の交ぜたるをよき程すくいていれ燒きたるをば器のまゝ板などの上へあけゐ様にして出すべし又其後へ油をぬりて前の如くして燒くべし但し分量多ければ裏のみ燒けて表は燒けざることあるべし故に厚くするときは一度裏をかへして又燒てよしこれを寸切又は細長く切りて何にてもあしらひを添て食すべし

分量は牛肉百目に雞卵二十計り但し大小によりて見計ふべし

又右の如くしたるを燒かずして角なる器にいれて蒸しよき程に切りたるもよし



## ●新潟支會記事

仝支會にては過般本會へ交渉の爲め役員中野悅子中村しげ子の兩名上京されしが同地婦人慈善會は是迄發起者役員會員共に槪して同一なるにより兩會を合併するは萬事便利なりとて本會との協議も纏まり總裁殿下の認許を經て茲に兩會を合併することゝなり名稱を左の如く定め

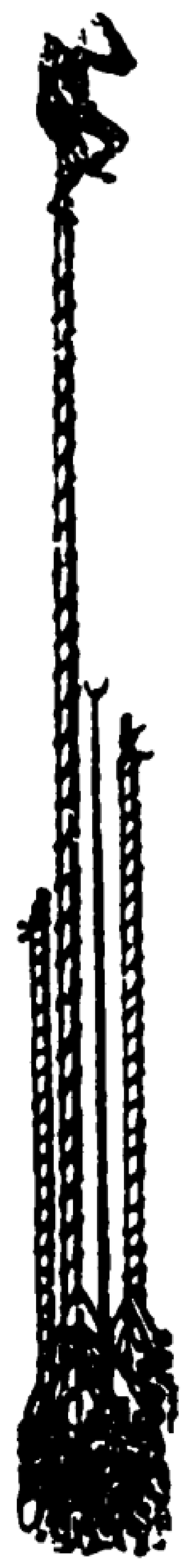
大日本婦人衞生會新潟支會衞生慈善會

會費は兩會を合して○特別會員三拾錢○通常會員二拾錢○學生拾五錢○以下拾錢○五錢の五種と定め

たりしが忽ちにして特別會員の多數を得るに至ります〳〵隆盛に赴かんとす

◉一月六日には同市の西堀通法音寺に於て新年會を催し式場には總裁殿下の御寫眞を奉じ會員一同拜賀式を行ひ講師田代氏には總裁殿下の令詞を讀み上げらる一同肅聽前後に君ヶ代の奏樂あり式終りて會員名々の持ち寄りにて福引をなし茶菓、壽し、蕎麥、などの接持もありて當日の出席者は凡百三十四名なりしが衣服質素の令詞に基き役員一同は卒先して金巾の黑紋附を着用せしとの事なるがよくも皆一致せること〻本會役員等一同感嘆せられき當日は同地在住の米國人ニウエル夫人ペトル夫人ミス、ブラオンなどの外國人も出席し中々盛會なりしと役員中野悦子より報導せられたり

◉總裁殿下の衣服に關する令詞は同支會に於て立派なる木版となし勝間田會長より同地の會員一同へ配與せられたり



## 廣告

### 本會會報

## 謹賀新年

併せて會員各位の健康を祈る

明治三十三年一月

私立大日本婦人衞生會

副啓昨年は會員各位の御協力により多數の入會者多數の特別會員を得るに至りしは誠に感謝の至りに堪えず候尚本年も倍舊の御盡力あらん事を祈る

醫學士竹中成憲先生新著

## ●通俗肺病豫防養生法

正價四十錢 郵稅四錢

右は肺病の原因徴候、療法、等を極めて通俗的に述べたる者にして其主眼とする所は攝生法を明にし此恐るべき疾病を未發に防ぎ既に發したるものは之を治することを詳論せり例ひ本病なきも衛生に心あるの諸君一讀せらるれば身躰を强壯ならしむるの法を會得せらるゝことゝ信ず

醫學士竹中成憲先生著

## 最新學說 日本小內科學

美本 本綴 一千頁　正價貳圓 郵稅十六錢

本書は先生が奇抜なる觀察に基き本邦に固有なる若くは本邦に適切なる事項を集め簡約に編述せられたるものにして附錄の速診法、藥室備付品表、開業に際し必要器具一覽表、開業費豫算、邦語內科各書目等其便益實に尠からざるなり

醫學士竹中成憲先生著

## ●新藥効用區別

袖珍 臨床　正價貳拾五錢 郵稅貳錢

發兌元　東京市本郷春木町二町目二十二番地　半田屋醫籍商店

## 私立二葉幼稚園の開園

本園は世にありふれたる幼稚園と違ひ社會の下層に沈淪せる貧民の兒女を慈善のため保育するを目的とし傍父母が育兒上に於ける煩勞を省き家事を營む餘裕あらしめ兒女にありては幼時より良慣習を附け良教育を施し無邪氣の兒女をして圓滿に保育せしむるにありといふ

發起者は多年此道に經驗ある森島みね、野口ゆか子の兩氏にして同園は世の教育家慈善家の賛助により本年一月より開園せしが尚慈善家の義捐に依賴して洽く貧兒を保育すべしといふ

●寄附の方法

定期寄附　毎月金五十錢ツヽ（本園の經常費に充つ）

臨時寄附　定額なし（一部を基金に一部を準備金に充つ）

物品寄附　玩具　繪書　紙類　衣類等

集金法　定期寄附には毎月集金人差出し臨時寄附は通知次第請取人を差出すと

二葉幼稚園
所在麴町區下六番町二十七番地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農商務省貿易品陳列館及び上野公園
商品陳列館に上等人力車出品有之候

## ●保險附人力車大販賣廣告

弊店儀從來人力車製造販賣罷在候處大方諸彥の御引立を蒙り日に增し盛大に相成候段辱奉深謝候弊店製造の人力車は車躰構造の堅牢なること形狀の格好よきこと殊に車の出方至て輕くして輓子の勞力を省き且皆樣方のお乘好きことと等は已に世人の定論も有之候猶今後益々大勉強を以て製造販賣仕候間何卒陸續御用被仰付度伏て奉希候謹言

漆細工は本邦特有の技術に有之候へば益々改良進歩の道を謀り益々邦人の技能を發揮せさるへからざることに御座候然るに當業者多くは目前の利を計り粗造品を製出致し候ため終に內外人の不信を來し我が特技たる斯業か今や振はざるに至り候は實に慨嘆の至りに堪えず候小生大に感ずる所有之乍不及徐々挽回の策を講ぜんことを自任仕り以後器物其他塗物一式極堅牢に仕揚げ御注文に可應候間御用向の節は何品に不係御一報被成下候はゝ早速參堂可仕候頓首

東京本郷春木町二丁目五十六番地

保險附人力車製造販賣店　伊東竹三郎

◎歯科診察時間◎

午前九時ヨリ午後五時迄

東京日本橋區本町二丁目

歯科醫 高橋孝子

歯科醫 高橋虎一

**傳染病**に非さるも病人ある家は消毒必用なり産前産後轉宅等凡そ不幸ありし**消毒**を怠る時は不測の危難を家屋に居室に對して遺留す故に春夏秋冬傳染病の有無に不拘未發的豫防法に重きを置く

外來部は消毒料即答
巡回部は見積を前陳

**東京瓦斯消毒所**

本部 淺草松葉町八十八番地

電話浪花一七〇一

◎空氣の乾濕を適度に調整し
◎炭酸瓦斯の發生を防止せる
完全なる暖室爐

日本室用
**暖室爐**
炭焚
（明突不要）

此器は室内全躰を平均に快く温暖に成し温度上昇自在にて空氣の乾濕を適度に調整し炭酸氣の害無く他の暖爐の如き火氣にのぼせる憂無き衛生上有益なる構造にて烟突は要せず安全經濟に持運び自在に形狀優美堅固なる防寒必要具也●有益證●山階宮殿下文部省外務省大審院東京美術學校一條公二條公九條公鷹司公島津公德川公仝老公同侯大山侯蜂須賀侯以下七十余華族方●佐久間中將大迫中將寺内中將岡村少將以下五十余の將校方及び加藤文學博士藤岡工學博士三菱社三井呉服店以下紳士學者實業家を合せて全國にて已に一萬余の御用受殊に外國人までも賞用すとに至り候●●●醫學家にては足立軍醫監馬島醫學士田代醫學士井上ドクトル川上ドクトル田中醫學士以下諸醫家の御賞用を受　日本赤十字社永樂病院東洋内科病院京都東山病院宮城縣病院以下各縣立私立病院醫方より五千余個御用受御試用の後ち重て數個又數十個御用の客多く好評を受居候●尙明細効用證明書は御報次第可呈候●正價金四圓八拾五錢荷造費六十五錢

東京市麹町區隼町二十番地

**山本賣店**

## ●私立大日本婦人衛生會規則摘要

一 本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

一 會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得入會の節は姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込むべし入會者には會員證を交付す

一 會員を分ちて終身特別及通常の三種とす

一 終身會員は一時に金拾圓以上特別會員は一ヶ月金貳拾錢以上通常會員は一ヶ月金拾錢を納むるものとし學生其他事故ある者は減額して金七錢を納むるものとす

一 男子にして本會の旨趣を賛成する者は之を賛成員とす其會費は本會員に同じと雖も本會に功勞あるもの又は本會に於て特別賛成員たることを望みたる者は役會協議に依り無會費とすることあるべし

一 會員は本會に於て毎月發行する雜誌を無料にて受ることを得退會せんとする者は會員證を添へ本會事務所に報知すべし死亡する時は親戚知友より通知すべし

一 集會は例會總會及評議會員とす集會は八九月を除くの外毎月一回とし通常第一土曜日午后一時より開會するものとす
但毎會學識經驗ある者に衛生上の講義演說談話を囑託し會員をして隨意聽講せしむるものとす

一 會員は家族の婦女若くは知己の婦人を本會々場へ誘致し講義演說等を陪聽せしむるを得

一 講議演說等は男子の傍聽を禁ず但賛成員若くは會員縁故ある男子は此限にあらずと雖も賛成員の外は本會の都合に由り臨時謝絶することあるべし

### ●支會

一 地方に於て本會々員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得

一 本會々員にして支會を設立せんとするときは發起者の姓名を記載し申出づべし爾後員數增減あるときは其姓名を支會より本會事務所に報知すべし

一 本會々員にして支會に加入したる者の會費は本會に納付することを止め支會の規定に依るものとす尙詳細は本會事務所へ承合すべし

### 注意

一 會費は郵便小爲替にて本會事務所々在の郵便取扱所（赤阪溜池便郵取扱所）宛振出あるべし

一 會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送費として別に郵券二錢を添へらるべし
但止むを得ざる場合には郵券を代用するも妨げなしと云へども總て一割増とす

一 轉居せられたるときは其旨直ちに本會事務所宛通せらるべし

一 會員中若し本會の障害となるべき所爲ある者又は屢々會費を督促するも納付せざるものは役員會の決議を經て除名し若くは廣告することあるべし

| 廣告料 | |
|---|---|
| 一頁 | 金二圓 |
| 半頁 | 金一圓 |
| 一行 | 金六錢五厘 |
| 總て前金とし割引なし | |

本誌定價　壹部　金貳拾錢　毎月一回發行


發行所　東京市牛込區矢來町三番地中丸、四
私立大日本婦人衛生會

編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中德三郎

印刷者　東京牛込區矢來町三番地　吉岡嚴八

印刷所　東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

（明治二十六年四月四日遞信省認可）